

平成30年5月15日（火）、安来市立布部小学校において、第4回みーもスクールを開講しました。同じクラブ活動の3年生～6年生10人に対して、森林保全の大切な話と間伐体験の指導を行いました。

人工林において実際に暗かった森を、間伐して光を入れる事により、2年後には明るい気持ちの良い森になったことを、驚きをもって聞きいていました。



間伐体験では、1本目は予め伐木できるように仕掛けを準備して、安全な伐木の仕方について説明をし、また道具の安全な使い方についても説明がありました。



伐倒の方向を見ながら、チェーンソーで切込みを入れ、最後にみんなで力を合わせて木を倒しました。倒した木の、枝払いをノコを使って行い枝を片づけました。



2本目は、安全帯を使って仕掛けづくりを行いました。みんな梯子を使って木に登りたがりましたが、一人代表を決め実施しました。ノコで順番に少しずつ切込みをいれ、最後に一斉にロープを引いて倒しました。

記念にチェーンソーで木を薄く丸太切りにしてもらい、木の年輪の話や、割れを入れないで乾燥させることができるか？観察する事にしました。



平成30年6月6日（水）、安来市立布部小学校において、第1回みーもスクールを開講しました。1、2年生6名に対して雨の中、学校周辺の植物や雨の日に見られる生き物の観察を行いました。同時に落ち葉や、植物や木切れを拾って教室に持ち帰りました。

押し葉を使った「葉っぱアート」の指導を行いました。



木の名前や木の特徴を話し合いながら、雨の日の生き物でよく見られるカタツムリを観察したり、カエルについても色の変化などについて話をしました。また、笹舟をみんなで作りました。思い思いの植物を指導者に剪定ばさみで切ってもらい、アートの材料にしました。雨にもかかわらず、元気いっぱいでした。



採取した葉っぱと、事前に準備した葉っぱや押花を使って、A3の用紙を画板に見立てアート作品を作りました。それぞれの作品を撮影し、一人ずつ発表をしてもらいました。

素晴らしいアート作品がたくさんできました。



平成30年6月12日（火）安来市立布部小学校において、第5回みーもスクールを開講しました。

クラブ活動の3～6年生10名を対象に、「間伐材の和紙づくり」の指導を行いました。

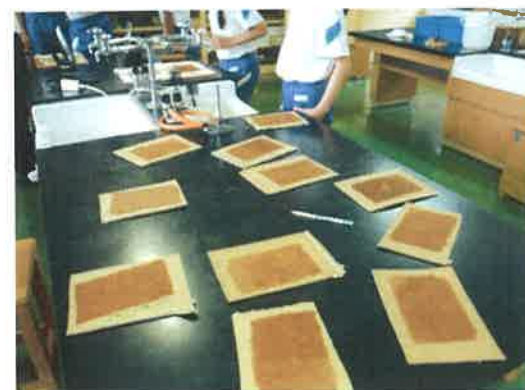
初めに、和紙について、原料になる植物の事や和紙で作られるもの、和紙の優れた特徴など黒板を使って話しをしました。

使用したヒノキの甘皮とタブノキについても話しをし、紙は小さな繊維とネリによってつくることができる事を体験してもらいました。



最初にタブノキの葉でネリ作りをして、粘りのある青汁にみんな大はしゃぎでした。ヒノキの甘皮を机の上で木槌を使ってたたくと大きな音がでましたが、良い材料にしようと一生懸命たたいてくれました。

指導者の手本通りにできて、記念に残る1枚ができました。葉書として使える話をしたら、もったいないので自分に宛てて出すと話す児童もいました。楽しく紙漉き体験ができました。



平成30年7月5日(木)安来市立布部小学校において、第2回みーもスクールを開講しました。1～2年生6名を対象に、「森の話し」と「木切れ工作」の指導を行いました。

島根県インストラクターの池田さんから映像を見ながら、絵の中に隠れている生き物探しや、森の中で見つけた不思議なものは、誰のしわざでしょう？等クイズ形式で楽しみながら、森の大切さについて気が付いてくれたようです。



間伐材のチップや木の実を使って、工作を行いました。木の実の紹介や、チップを使う際のルールやホットボンドの使い方などの話しをしてから、自由に動物や昆虫などを作ってもらいました。



何を作るのか、色々な考えがうかんで時間内に考えがまとまらない人もいましたが、楽しく作ることができました。

平成30年11月7日(水)、安来市立布部小学校において、第3回みもスクールを開講しました。今回の対象1～2年生6名に対して、「竹が増えて大変」の講義と「竹で米粉ケーキ作り」と「焼き芋作り」の指導を行いました。

熾火を準備し、児童たちが育てたさつま芋を使って焼き芋づくりを行いました。さつま芋をキッチンペーパーとアルミで包んで、無煙炭火器に仕込みました。



スライドを見ながら「昔から竹は、人が生活する上で色々なものに活用されていたため竹藪となって放置されることがなかったけど、今は問題になっている。」という話から、今日は竹を使うし



米粉ケーキの生地づくりを全員で行いました。初めてハンドミキサーを使ったり泡立て器をつかったりして、興味津々でした。



米粉ケーキが竹筒で2本焼き上がり、焼き芋とケーキの試食をしました。

